

10月からシンボルマーク変更

大成ロテック、大成建設と同じに

変更後のシンボルマーク



を契機に、コンプライアンス（法令順守）のさらなる徹底や働き方改革推進への機運醸成に注力する。大成建設グループの一員という強い自覚を職員らに持ってもらい、従来の仕事の進め方や働き方を見直すきっかけにする。

大成ロテックは1992年から使用しているシンボルマークを、10月1日付で大成建設と同じものに変更する。「名実ともに大成建設グループの一員であることを、社内外に対して明確に示す」（総務部）のが変更理由。20年以上使い続けてきたシンボルマークの変更

「大成ブランド」と「グループ力」の相乗効果を最大限に生かしながら、営業力・調達力の強化や技術力の向上、優秀な人材の確保につなげる。大成建設グループの中核企業として、18年度から3カ年の中期経営計画で、最終年度の21年3月期に連結営業利益で過去最高（16年3月期95億円）の更新を目指す。